

# 1 聖書の会について

## 1.1 聖書を一緒によみませんか

1. ルカによる福音書のいくつかのたとえ
2. マルコによる福音書：第7回（2002年9月10日）から第37回（2005年2月2日）
3. ルカによる福音書：第38回（2005年4月22日）から第109回（2008年9月25日）
4. 使徒行伝：第110回（2008年10月2日）から第178回（2011年6月23日）（パウロに関する映画鑑賞2回、学生が司会をする Special 3回を含む）
5. マタイによる福音書：第179回（2011年9月8日）から第287回（2015年2月26日）
6. ヨハネによる福音書：第288回（2015年4月16日）から第382回（2018年2月22日）（学生が司会をする Special 7回、万座温泉での9回を含む。これらは、ヨハネ以外のテキストの場合を含む。）
7. ヨハネの手紙一：第383回（2018年4月12日）から第401回（2018年11月15日）（学生が司会をする Special 1回を含む）
8. ヨハネの手紙二・三、万座温泉での3回、最終回を含み、第407回（2018年12月20日最終回）

## 1.2 万座温泉リトリート

1. 2014 マタイによる福音書 25章の3つのたとえ
2. 2015 ヨハネによる福音書 6章 「五千人に食べ物を与える」「湖の上を歩く」
3. 2016 ルカによる福音書 10章 「善きサマリア人のたとえ・マルタとマリア」
4. 2017 ルカによる福音書 15章 「放蕩息子のたとえ」  
16章 「不正の管理人のたとえ」
5. 2018 コリントの信徒への手紙一 13章
6. 2019 マタイによる福音書 5章-7章

## 2 フィリピの信徒への手紙について

### 2.1 フィリピの信徒への手紙を学ぶにあたって

#### フィリピについて

- パウロの第二回伝道旅行でのフィリピ訪問：使徒言行録 16:12-40。CE52 ごろ。
- マケドニアにあるローマの植民都市 金鉱もある
- もともとは、クレニデス(χρήνη 泉)。BCE 360 アレクサンダー大王の父フィリップ2世(BCE359-336)の名前を取る。
- トラキヤの国境に近く、アンギテス川の低地を見下ろす高台にある。北は平野、南は沼地で囲まれた戦略的地点
- オクタ비아ヌス(アウグスト)とアントニウスが、カッシスと、ブルトウスを破った(BCE42)古戦場。その後、アウグストが、アントニウスと、クレオパトラの連合軍を破り(BCE31)それを記念して、ローマの植民都市とし、退役軍人を住ませた。
- ユダヤ人は少数。Acts 16:13

### 2.2 特徴：キーワード

喜ぶ 16回：1:4, 18, 25, 2:2, 17, 17, 18, 18, 28, 29

キリスト論 2:5-11

キリストにあって、主にあって 17回：1:1, 13, 26, 2:1, 5, 19, 24, 3:1, 9, 14, 4:1, 4, 7, 10, 13, 19, 21

コイノーニア 1:5, 7, 2:1, 3:10, 4:14, 15

霊的共有思想、信仰共同体 Acts 2:44,45, 4:32

- 1:5 それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです。
- 1:7 わたしがあなたがた一同についてこのように考えるのは、当然です。というのは、監禁されているときも、福音を弁明し立証するときも、あなたがた一同のことを、共に恵みにあずかる者と思って、心に留めているからです。

- 2:1 そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“霊”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、
- 3:10 わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、
- 4:14 それにしても、あなたがたは、よくわたしと苦しみを共にしてくれました。
- 4:15 フィリピの人たち、あなたがたも知っているとおりに、わたしが福音の宣教の初めにマケドニア州を出たとき、もののやり取りでわたしの働きに参加した教会はあなたがたのほかにもありませんでした。

福音 1:5, 7, 12, 27, 2:22, 4:3, 5

1:27 以外は、パウロの手に委ねられた宣教の働き

## 2.3 梗概：尾山令仁 [1]

1. 初めのあいさつ 1:1-11
  - (a) 書き出し 1:1
  - (b) 祝祷 1:2
  - (c) 感謝と祈り 1:3-11
2. パウロの身辺の事情 1:12-26
  - (a) 教会外からの問題- 投獄とその結果 1:12-14
  - (b) 教会内の問題と第一に重要なこと 1:15-18
  - (c) 生と死におけるパウロ 1:19-26
3. 福音にふさわしい生活についての勧め 1:27-2:18
  - (a) 教会外の敵に対する一致した戦いの勧め 1:27-30
  - (b) 教会内における一致した思いの勧め 2:1-4
  - (c) キリストの模範による勧め 2:5-11
  - (d) 救いの達成についての勧め 2:12-18
4. 二人の模範 2:19-30
  - (a) テモテの模範 2:19-24
  - (b) エパフロデトの模範 2:25-30
5. 救いの達成についての別の説明 3:1-21

- (a) ユダヤ主義者についての警告 3:1-3
- (b) パウロの失ったものと得たもの 3:4-11
- (c) 前進の一事 3:12-16
- (d) パウロ自身の模範 - 国籍を天に持つ者の生き方 3:17-21

6. 具体的な問題についての勧め 4:1-20

- (a) 主にあって堅く立つことについての勧め 4:1
- (b) 二人の夫人の若いについての勧め 4:2-3
- (c) 喜びと寛容と思えば煩わしい生活についての勧め 4:8-9
- (d) 善なるものの追求についての勧め 4:8-9
- (e) 贈り物に対する感謝 4:10-20

7. 結び 4:21-23

- (a) 終わりのあいさつ 4:21-22
- (b) 祝祷 4:23

## 2.4 聖書学からの議論（山内・佐竹）

1. A : 4:10-20, 21-23 獄中におくてピリピの教会からの援助を受けた直後に書かれた
2. B : 1:1-3:1a, 4:2-7 (21-23) 手紙 A が送られてからまもなく、獄中で書かれた。
3. C : 3:1b-4:1, 4:8-9 出獄後やや時を経てから書かれた。

## 参考文献

- [1] ピリピ人への手紙 (担当: 尾山令仁) p.9-41 「新聖書注解 新約3 ピリピ人への手紙 → ヨハネの黙示録」いのちのことば社, 1972.
- [2] 「現代聖書注解 フィリピの信徒への手紙」F.B. クラドック著、古川修平訳、日本基督教団出版局, 1988.
- [3] 「現代新訳注解全書 ピリピ人への手紙」佐竹明著、新教出版社、1969.
- [4] 「ピリピ人への手紙」山内真、日本基督教団出版局、1987.
- [5] 「新約聖書」新約聖書翻訳委員会訳、岩波書店、2004.

## 3 聖書

### 3.1 フィリピの信徒への手紙第1章

聖書協会共同訳, Phil 1 1 キリスト・イエスの僕パウロとテモテから、フィリピにいるキリスト・イエスにあるすべての聖なる者たち、ならびに監督たちと奉仕者たちへ。2 私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平和があなたがたにありますように。3 私は、あなたがたのことを思い起こす度に、私の神に感謝し、4 あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。5 それは、あなたがたが最初の日から今日に至るまで、福音にあずかっているからです。6 あなたがたの間で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までにその業を完成してくださると、私は確信しています。7 私があなたがた一同についてこのように考えるのは、当然です。というのは、獄中にいるときも、福音を弁明し立証しているときも、あなたがた一同を、共に恵みにあずかる者と思って心に留めているからです。8 私が、キリスト・イエスの深い憐れみの心で、あなたがた一同をどれほど思っているかは、神が証ししてください。9 私は、こう祈ります。あなたがたの愛が、深い知識とあらゆる洞察を身に着けて、ますます豊かになり、10 本当に重要なことを見分けることができますように。そして、キリストの日には純粋で責められるところのない者となり、11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされて、神を崇め、賛美することができますように。12 きょうだいたち、私の身に起こったことが、かえって福音の前進につながったことを、知っていただきたい。13 つまり、私が投獄されているのはキリストのためであると、兵営全体と、その他のすべての人に知れ渡り、14 主にあるきょうだいたちのうち多くの者が、私が投獄されたのを見て確信を得、恐れることなくますます大胆に、御言葉を語るようになったのです。15 キリストを宣べ伝えるのに、妬みと争いの念に駆られてする者もいれば、善意でする者もいます。16 一方は、私が福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、17 他方は、利己心により、獄中の私をいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせているのです。18 だが、それが何であろう。口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、私はそれを喜んでいます。これからも喜びます。19 というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の支えとによって、このことが私の救いとなることを知っているからです。20 そこで、私が切に願い、望んでいるのは、どんな

ことがあっても恥じることなく、これまでのように今も堂々と語って、生きるにも死ぬにも、私の身によってキリストが崇められることです。21 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは益なのです。22 けれども、肉において生き続けることで、実りある働きができるのなら、どちらを選んだらよいか、私には分かりません。23 この二つのことの間で、板挟みの状態です。私の切なる願いは、世を去って、キリストと共にいることであり、実は、このほうがはるかに望ましい。24 しかし、肉にとどまるほうが、あなたがたのためにはもっと必要です。25 こう確信しているので、私は世にとどまって、あなたがたの信仰の前進と喜びのために、あなたがた一同と共にいることになると考えています。26 そうなれば、私が再びあなたがたのところに行くとき、キリスト・イエスにあるというあなたがたの誇りが、私ゆえに満ち溢れるでしょう。27 ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい。そうすれば、行ってあなたがたに会うにしても、離れているにしても、私は次のことを聞けるでしょう。あなたがたが一つの霊によってしっかりと立ち、福音の信仰のために心を一つにして共に戦っており、28 どんなことがあっても、敵対者たちにひるんだりはしないのだと。このことは、彼らには滅びのしるし、あなたがたには救いのしるしです。これは神によることです。29 なぜなら、あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているからです。30 あなたがたは、かつて私について目にし、今また聞いているのと同じ苦闘を続けているのです。

**新共同訳, Phil 1** 1 キリスト・イエスの僕であるパウロとテモテから、フィリピにいて、キリスト・イエスに結ばれているすべての聖なる者たち、ならびに監督たちと奉仕者たちへ。2 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。3 わたしは、あなたがたのことを思い起こす度に、わたしの神に感謝し、4 あなたがた一同のために祈る度に、いつも喜びをもって祈っています。5 それは、あなたがたが最初の日から今日まで、福音にあずかっているからです。6 あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています。7 わたしがあなたがた一同についてこのように考えるのは、当然です。というのは、監禁されているときも、福音を弁明し立証するときも、あなたがた一同のことを、共に恵みにあずかる者と思って、心に留めているからです。8 わたしが、キリ

スト・イエスの愛の心で、あなたがた一同のことをどれほど思っているかは、神が証ししてください。9 わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、10 本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、11 イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように。12 兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。13 つまり、わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り、14 主に結ばれた兄弟たちの中で多くの者が、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになったのです。15 キリストを宣べ伝えるのに、ねたみと争いの念にかられてする者もいれば、善意でする者もいます。16 一方は、わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、17 他方は、自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせているのです。18 だが、それがなんであろう。口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、わたしはそれを喜んでいきます。これからも喜びます。19 というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の助けとによって、このことがわたしの救いになると知っているからです。20 そして、どんなことにも恥をかかず、これまでのように今も、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。21 わたしにとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。22 けれども、肉において生き続ければ、実り多い働きができ、どちらを選ぶべきか、わたしには分かりません。23 この二つのことの間で、板挟みの状態です。一方では、この世を去って、キリストと共にいたいと熱望しており、この方がはるかに望ましい。24 だが他方では、肉にとどまる方が、あなたがたのためにもっと必要です。25 こう確信していますから、あなたがたの信仰を深めて喜びをもたらすように、いつもあなたがた一同と共にいることになるでしょう。26 そうなれば、わたしが再びあなたがたのもとに姿を見せるとき、キリスト・イエスに結ばれているというあなたがたの誇りは、わたしゆえに増し加わることになります。27 ひたすらキリストの福音にふさわしい生活を送りなさい。そうすれば、そちらに行つてあなたがたに会うにしても、離れているにしても、わたしは次のことを聞けるでしょう。

あなたがたは一つの霊によってしっかり立ち、心を合わせて福音の信仰のために共に戦っており、28 どんなことがあっても、反対者たちに脅されてたじろぐことはないのだと。このことは、反対者たちに、彼ら自身の滅びとあなたがたの救いを示すものです。これは神によることです。29 つまり、あなたがたには、キリストを信じるだけでなく、キリストのために苦しむことも、恵みとして与えられているのです。30 あなたがたは、わたしの戦いをかつて見、今またそれについて聞いています。その同じ戦いをあなたがたは戦っているのです。

### 口語訳 1955, Phil 1 <sup>1</sup>

1 キリスト・イエスの僕たち、パウロとテモテから、ピリピにいる、キリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、ならびに監督たちと執事たちへ。2 わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安とが、あなたがたにあるように。3 わたしはあなたがたを思うたびごとに、わたしの神に感謝し、4 あなたがた一同のために祈るとき、いつも喜びをもって祈り、5 あなたがたが最初の日から今日に至るまで、福音にあずかっていることを感謝している。6 そして、あなたがたのうちに良いわざを始められたかたが、キリスト・イエスの日までにそれを完成して下さるにちがいないと、確信している。7 わたしが、あなたがた一同のために、そう考えるのは当然である。それは、わたしが獄に捕われている時にも、福音を弁明し立証する時にも、あなたがたをみな、共に恵みにあずかる者として、わたしの心に深く留めているからである。8 わたしがキリスト・イエスの熱愛をもって、どんなに深くあなたがた一同を思っていることか、それを証明して下さるかたは神である。9 わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、10 それによって、あなたがたが、何が重要であるかを判別することができ、キリストの日に備えて、純真で責められるところのないものとなり、11 イエス・キリストによる義の実に満たされて、神の栄光とほまれとをあらわすに至るように。12 さて、兄弟たちよ。わたしの身に起った事が、むしろ福音の前進に役立つようになったことを、あなたがたに知ってもらいたい。13 すなわち、わたしが獄に捕われているのはキリストのためであることが、兵営全体にもそのほかのすべての人々にも明らかになり、14 そして兄弟たちのうち多くの者は、わたしの入獄によって主にある確信を得、恐れることなく、ますます勇敢に、神の言を語るようになった。15 一方では、ねたみや闘争

<sup>1</sup>日本聖書協会口語訳 1955, 1975, 1984, 2002.



心からキリストを宣べ伝える者がおり、他方では善意からそうする者がいる。16 後者は、わたしが福音を弁明するために立てられていることを知り、愛の心でキリストを伝え、17 前者は、わたしの入獄の苦しみに更に患難を加えようと思って、純真な心からではなく、党派心からそうしている。18 すると、どうなのか。見えからであるにしても、真実からであるにしても、要するに、伝えられているのはキリストなのだから、わたしはそれを喜んでいるし、また喜ぶであろう。19 なぜなら、あなたがたの祈と、イエス・キリストの霊の助けとによって、この事がついには、わたしの救となることを知っているからである。20 そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあっても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大胆に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることである。21 わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。22 しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、わたしにはわからない。23 わたしは、これら二つのものの間に板ばさみになっている。わたしの願いを言えば、この世を去ってキリストと共にいることであり、実は、その方がはるかに望ましい。24 しかし、肉体にとどまっていることは、あなたがたのためには、さらに必要である。25 こう確信しているので、わたしは生きながらえて、あなたがた一同のところにとどまり、あなたがたの信仰を進ませ、その喜びを得させようと思う。26 そうなれば、わたしが再びあなたがたのところに行くので、あなたがたはわたしによってキリスト・イエスにある誇を増すことになるだろう。27 ただ、あなたがたはキリストの福音にふさわしく生活しなさい。そして、わたしが行ってあなたがたに会うにしても、離れているにしても、あなたがたが一つの霊によって堅く立ち、一つ心になって福音の信仰のために力を合わせて戦い、28 かつ、何事についても、敵対する者どもにろうばいさせられないでいる様子を、聞かせてほしい。このことは、彼らには滅びのしるし、あなたがたには救のしるしであって、それは神から来るのである。29 あなたがたはキリストのために、ただ彼を信じるだけでなく、彼のために苦しむことをも賜わっている。30 あなたがたは、さきにわたしについて見、今またわたしについて聞いているのと同じ苦闘を、続けているのである。

## 新改訳 1970, Phil 1 <sup>2</sup>

<sup>2</sup>聖書刊行会新改訳 1970, 2017

1 キリスト・イエスのしもべであるパウロとテモテから、ピリピにいるキリスト・イエスにあるすべての聖徒たち、また監督と執事たちへ。2 どうか、私たちの父なる神と主イエス・キリストから、恵みと平安があなたがたの上にありますように。3 私は、あなたがたのことを思うごとに私の神に感謝し、4 あなたがたすべてのために祈るごとに、いつも喜びをもって祈り、5 あなたがたが、最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。6 あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。7 私があなたがたすべてについてこのように考えるのは正しいのです。あなたがたはみな、私が投獄されているときも、福音を弁明し立証しているときも、私とともに恵みにあずかった人々であり、私は、そのようなあなたがたを、心に覚えているからです。8 私が、キリスト・イエスの愛の心をもって、どんなにあなたがたすべてを慕っているか、そのあかしをしてくださるのは神です。9 私は祈っています。あなたがたの愛が真の知識とあらゆる識別力によって、いよいよ豊かになり、10 あなたがたが、真にすぐれたものを見分けることができるようになりますように。またあなたがたが、キリストの日には純真で非難されるところがなく、11 イエス・キリストによって与えられる義の実に満たされている者となり、神の御栄えと誉れが現わされますように。12 さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思います。13 私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、14 また兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことにより、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆に神のことばを語るようになりました。15 人々の中にはねたみや争いをもってキリストを宣べ伝える者もいますが、善意をもってする者もいます。16 一方の人たちは愛をもってキリストを伝え、私が福音を弁証するために立てられていることを認めています。17 他の人たちは純真な動機からではなく、党派心をもって、キリストを宣べ伝えており、投獄されている私をさらに苦しめるつもりなのです。18 すると、どういふことになりますか。つまり、見せかけであろうとも、真実であろうとも、あらゆるしかたで、キリストが宣べ伝えられているのであって、このことを私は喜んでいます。そうです、今からも喜ぶことでしょう。19 というわけは、あなたがたの祈りとイエス・キリストの御霊の助けによって、このことが私の救いとなることを私は知っているからです。20 それは、私がどういふばあ

いにも恥じることなく、いつものように今も大胆に語って、生きるにしても、死ぬにしても、私の身によって、キリストのすばらしさが現わされることを求める私の切なる願いと望みにかなっているのです。21 私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。22 しかし、もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいか、私にはわかりません。23 私は、その二つのもの間に板ばさみとなっています。私の願いは、世を去ってキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまさっています。24 しかし、この肉体にとどまることが、あなたがたのためには、もっと必要です。25 私はこのことを確信していますから、あなたがたの信仰の進歩と喜びとのために、私が生きながらえて、あなたがたすべてといっしょにいるようになることを知っています。26 そうなれば、私はもう一度あなたがたのところに行けるので、私のことに関するあなたがたの誇りは、キリスト・イエスにあって増し加わるでしょう。27 ただ、キリストの福音にふさわしく生活しなさい。そうすれば、私が行ってあなたがたに会うにしても、また離れているにしても、私はあなたがたについて、こう聞くことができるでしょう。あなたがたは霊を一つにしてしっかりと立ち、心を一つにして福音の信仰のために、ともに奮闘しており、28 また、どんなことがあっても、反対者たちに驚かされることはない。それは、彼らにとっては滅びのしるしであり、あなたがたにとっては救いのしるしです。これは神から出たことです。29 あなたがたは、キリストのために、キリストを信じる信仰だけでなく、キリストのための苦しみをも賜わったのです。30 あなたがたは、私について先に見たこと、また、私についていま聞いているのと同じ戦いを経験しているのです。

#### **NIV 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 1<sup>3</sup>**

1 Paul and Timothy, servants of Christ Jesus, To all God's holy people in Christ Jesus at Philippi, together with the overseers and deacons: 2 Grace and peace to you from God our Father and the Lord Jesus Christ. 3 I thank my God every time I remember you. 4 In all my prayers for all of you, I always pray with joy 5 because of your partnership in the gospel from the first day until now, 6 being confident of this, that he who began a good work in you will carry it on to completion until the day of Christ Jesus. 7 It is right for me to feel this way about all of you, since I have you in my heart and, whether I am in

<sup>3</sup>New International Version 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 1

chains or defending and confirming the gospel, all of you share in God' s grace with me. 8 God can testify how I long for all of you with the affection of Christ Jesus. 9 And this is my prayer: that your love may abound more and more in knowledge and depth of insight, 10 so that you may be able to discern what is best and may be pure and blameless for the day of Christ, 11 filled with the fruit of righteousness that comes through Jesus Christ —to the glory and praise of God. 12 Now I want you to know, brothers and sisters, that what has happened to me has actually served to advance the gospel. 13 As a result, it has become clear throughout the whole palace guard and to everyone else that I am in chains for Christ. 14 And because of my chains, most of the brothers and sisters have become confident in the Lord and dare all the more to proclaim the gospel without fear. 15 It is true that some preach Christ out of envy and rivalry, but others out of goodwill. 16 The latter do so out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel. 17 The former preach Christ out of selfish ambition, not sincerely, supposing that they can stir up trouble for me while I am in chains. 18 But what does it matter? The important thing is that in every way, whether from false motives or true, Christ is preached. And because of this I rejoice. Yes, and I will continue to rejoice, 19 for I know that through your prayers and God' s provision of the Spirit of Jesus Christ what has happened to me will turn out for my deliverance. 20 I eagerly expect and hope that I will in no way be ashamed, but will have sufficient courage so that now as always Christ will be exalted in my body, whether by life or by death. 21 For to me, to live is Christ and to die is gain. 22 If I am to go on living in the body, this will mean fruitful labor for me. Yet what shall I choose? I do not know! 23 I am torn between the two: I desire to depart and be with Christ, which is better by far; 24 but it is more necessary for you that I remain in the body. 25 Convinced of this, I know that I will remain, and I will continue with all of you for your progress and joy in the faith, 26 so that through my being with you again your boasting in Christ Jesus will abound on account of me. 27 Whatever happens, conduct yourselves in a manner worthy of the gospel of Christ. Then, whether I come and see you or only hear about you in my absence, I will know that you stand firm in the one Spirit, striving together as one for the

faith of the gospel 28 without being frightened in any way by those who oppose you. This is a sign to them that they will be destroyed, but that you will be saved—and that by God. 29 For it has been granted to you on behalf of Christ not only to believe in him, but also to suffer for him, 30 since you are going through the same struggle you saw I had, and now hear that I still have.

**NRSV 1989, Phil 1** 1 Paul and Timothy, servants of Christ Jesus, To all the saints in Christ Jesus who are in Philippi, with the bishops and deacons: 2 Grace to you and peace from God our Father and the Lord Jesus Christ. 3 I thank my God every time I remember you, 4 constantly praying with joy in every one of my prayers for all of you, 5 because of your sharing in the gospel from the first day until now. 6 I am confident of this, that the one who began a good work among you will bring it to completion by the day of Jesus Christ. 7 It is right for me to think this way about all of you, because you hold me in your heart, for all of you share in God's grace with me, both in my imprisonment and in the defense and confirmation of the gospel. 8 For God is my witness, how I long for all of you with the compassion of Christ Jesus. 9 And this is my prayer, that your love may overflow more and more with knowledge and full insight 10 to help you to determine what is best, so that in the day of Christ you may be pure and blameless, 11 having produced the harvest of righteousness that comes through Jesus Christ for the glory and praise of God. 12 I want you to know, beloved, that what has happened to me has actually helped to spread the gospel, 13 so that it has become known throughout the whole imperial guard and to everyone else that my imprisonment is for Christ; 14 and most of the brothers and sisters, having been made confident in the Lord by my imprisonment, dare to speak the word with greater boldness and without fear. 15 Some proclaim Christ from envy and rivalry, but others from goodwill. 16 These proclaim Christ out of love, knowing that I have been put here for the defense of the gospel; 17 the others proclaim Christ out of selfish ambition, not sincerely but intending to increase my suffering in my imprisonment. 18 What does it matter? Just this, that Christ is proclaimed in every way, whether out of false motives or true; and in that I rejoice. Yes, and I will continue to rejoice, 19 for I know

that through your prayers and the help of the Spirit of Jesus Christ this will turn out for my deliverance. 20 It is my eager expectation and hope that I will not be put to shame in any way, but that by my speaking with all boldness, Christ will be exalted now as always in my body, whether by life or by death. 21 For to me, living is Christ and dying is gain. 22 If I am to live in the flesh, that means fruitful labor for me; and I do not know which I prefer. 23 I am hard pressed between the two: my desire is to depart and be with Christ, for that is far better; 24 but to remain in the flesh is more necessary for you. 25 Since I am convinced of this, I know that I will remain and continue with all of you for your progress and joy in faith, 26 so that I may share abundantly in your boasting in Christ Jesus when I come to you again. 27 Only, live your life in a manner worthy of the gospel of Christ, so that, whether I come and see you or am absent and hear about you, I will know that you are standing firm in one spirit, striving side by side with one mind for the faith of the gospel, 28 and are in no way intimidated by your opponents. For them this is evidence of their destruction, but of your salvation. And this is God's doing. 29 For he has graciously granted you the privilege not only of believing in Christ, but of suffering for him as well—30 since you are having the same struggle that you saw I had and now hear that I still have.

**NKJV 1982, Phil 1** 1 Paul and Timothy, bondservants of Jesus Christ, To all the saints in Christ Jesus who are in Philippi, with the bishops and deacons: 2 Grace to you and peace from God our Father and the Lord Jesus Christ. 3 I thank my God upon every remembrance of you, 4 always in every prayer of mine making request for you all with joy, 5 for your fellowship in the gospel from the first day until now, 6 being confident of this very thing, that He who has begun a good work in you will complete it until the day of Jesus Christ; 7 just as it is right for me to think this of you all, because I have you in my heart, inasmuch as both in my chains and in the defense and confirmation of the gospel, you all are partakers with me of grace. 8 For God is my witness, how greatly I long for you all with the affection of Jesus Christ. 9 And this I pray, that your love may abound still more and more in knowledge

and all discernment, 10 that you may approve the things that are excellent, that you may be sincere and without offense till the day of Christ, 11 being filled with the fruits of righteousness which are by Jesus Christ, to the glory and praise of God. 12 But I want you to know, brethren, that the things which happened to me have actually turned out for the furtherance of the gospel, 13 so that it has become evident to the whole palace guard, and to all the rest, that my chains are in Christ; 14 and most of the brethren in the Lord, having become confident by my chains, are much more bold to speak the word without fear. 15 Some indeed preach Christ even from envy and strife, and some also from goodwill: 16 The former preach Christ from selfish ambition, not sincerely, supposing to add affliction to my chains; 17 but the latter out of love, knowing that I am appointed for the defense of the gospel. 18 What then? Only that in every way, whether in pretense or in truth, Christ is preached; and in this I rejoice, yes, and will rejoice. 19 For I know that this will turn out for my deliverance through your prayer and the supply of the Spirit of Jesus Christ, 20 according to my earnest expectation and hope that in nothing I shall be ashamed, but with all boldness, as always, so now also Christ will be magnified in my body, whether by life or by death. 21 For to me, to live is Christ, and to die is gain. 22 But if I live on in the flesh, this will mean fruit from my labor; yet what I shall choose I cannot tell. 23 For I am hard-pressed between the two, having a desire to depart and be with Christ, which is far better. 24 Nevertheless to remain in the flesh is more needful for you. 25 And being confident of this, I know that I shall remain and continue with you all for your progress and joy of faith, 26 that your rejoicing for me may be more abundant in Jesus Christ by my coming to you again. 27 Only let your conduct be worthy of the gospel of Christ, so that whether I come and see you or am absent, I may hear of your affairs, that you stand fast in one spirit, with one mind striving together for the faith of the gospel, 28 and not in any way terrified by your adversaries, which is to them a proof of perdition, but to you of salvation, and that from God. 29 For to you it has been granted on behalf of Christ, not only to believe in Him, but also to suffer for His sake, 30 having the same conflict which you saw in me and now hear is in me.

岩波翻訳委員会訳 1995, Phil 1 1 キリスト・イエスの〔奴隷たる〕僕であるパウロとテモテが、フィリピにいる、キリスト・イエスにあるすべての聖なる者たち、ならびに監督たちと執事たちとに〔この手紙を書き送る〕。2 恵みと、そして平安とが、私たちの父なる神から、そして主イエス・キリストから、あなたがたに〔あるように〕。3 私はあなたがたを思い起こす度に、私の神に感謝する。4 あなたがたすべてのための私の不断の祈りにおいて、私は常に喜びをもって祈り〔の行為〕を為している。5 〔それは、〕あなたがたが〔キリストを信ずるに至った〕はじめの日から今に至るまで福音に与っている、ということについての喜びである。6 私はまさに次のことを確信している。すなわち、あなたがたのうちにあつて善き業を始めた方は、キリスト・イエスの日まで〔それを〕完成し〔続け〕るであろう、ということ。7 あなたがたすべてについて、このように思い抱くということは、私には当然のことである。それは、あなたがたを、私が投獄された時も福音の弁明および確証をする時も、〔くり返して言うが〕あなたがたすべてを、私と〔共に〕恵みを共有する者として、私が心のうちに覚えているからである。8 事実、いかに私があなたがたすべてをキリスト・イエスの愛の思いにおいて慕っているか、ということ〔を証しする〕私の証人は、神である。9 そして私は次のことを祈る。すなわち、あなたがたの愛が、知識とすべての感覚においてなおいっそう満ち溢れ、10 その結果あなたがたが、真に重要なことがらをわきまえて、キリストの日に純真で責められるところのない者となるように、11 〔そして〕イエス・キリストをとおしての義の実に満たされて、神の栄光と称賛へと〔至る〕ように〔私は祈る〕。12 さて、兄弟たちよ、私はあなたがたが次のことを知っていてほしい、と願っている。すなわち私の身に〔起こった〕ことがらは、むしろ福音の前進のためになって〔今に〕至っている、ということである。13 かくして私の投獄は、〔ローマ総督ならびにローマ兵たちのいる〕陣営全体および他のすべての人々に、キリストゆえのものとして明らかになり、14 さらに私の投獄によって確信を与えられた主にある兄弟たちのうちの多数の者は、さらにいっそう、恐れることなく〔神の〕言葉を語ることを敢えてするようになったのである。15 一方で、ある者たちは妬みと競争心のゆえに、他方で、ある者たちは善意のゆえに、キリストを宣べ伝える。16 後者は、私が福音の弁明のために〔獄に〕横たわっているのを知りつつ、愛〔の思い〕から、17 前者は党派心から、純粋にではなく、私の投獄に〔加えて、さらに〕患難を引き起こそうと考えながら、キリストを告げ知らせる。18 しかし、それが何であろうか。むしろ、口実に



よってであれ、真実によってであれ、いずれにしてもキリストが宣べ伝えられるのだから、私はまさにそのことを喜ぶ。然り、これからも喜ぶであろう。19 なぜならば、私はこのことが、あなたがたの祈りとイエス・キリストの霊の助けをとおして、結果として私にとって救いとなるであろう、ということを知っているからである。20 私の切なる願いと希望に沿っていることは、私になにごとにおいても恥を加えられず、むしろいつものように今も、生をとおしてであれ死をとおしてであれ、私の〔この〕からだにおいて、すべての大胆さをもってキリストが賞め讃えられるようになることである。21 実際、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは〔むしろ〕益である。22 しかし、もしも肉において生きること、そのことが私にとって〔使途としての〕働きの実〔をもたらす〕とするならば、どちらを自分が選ぶことになるのか、私にはわからない。23 私は二つのものの板ばさみになっている。私は、〔世を〕去って、キリストと共にあることを希求している。〔なぜならば、〕その方がむしろ〔私にとっては〕はるかに好ましいからである。24 しかし、肉に〔おいて〕留まることは、あなたがたのゆえにより必要なことである。25 そして私は、このことを確信しているので、あなたがたの信仰の前進と喜びのために〔肉に〕留まるであろう、〔燃り、〕あなたがたすべてと共に留まるであろう、ということを知っている。26 それは、あなたがたの誇りが、キリスト・イエスにあって、私によって、〔すなわち〕私が再びあなたがたのところに滞在することをとおして、満ち溢れるためである。27 ただあなたがたは、キリストの福音にふさわしい〔市民として〕生活をしなさい。それは、私が行ってあなたがたに会っているにしても、〔あなたがたから〕離れているにしても、あなたがたに関する〔次のような〕ことがらを私が聞くことになるためである。すなわち、あなたがたが一つの霊において堅く立っているということ、〔その際〕一つ心において福音の信仰のために共に闘いながら、28 なにごとにおいても反対者たちによって脅かされないでいるということ、である。そのことは彼らにとっては滅びの表示であるが、他方、〔あなたがたにとっては〕あなたがたの救いの〔表示〕であり、そしてそのことは神から〔出た〕ものなのである。29 というのは、あなたがたには、キリストのためということ、すなわちただ単に彼を信じるということだけではなく、彼のために苦しむということが、恵みとして与えられたからである。30 あなたがたは、私のうちに〔かつて〕あなたがたが見、そして私について今聞いているのと、同じ闘いを為しているのである。

### 3.2 フィリピの信徒への手紙第2章

聖書協会共同訳, Phil 2 1 そこで、幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、霊の交わり、憐れみや慈しみの心があるなら、2 同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。3 何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考えなさい。4 めいめい、自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい。5 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにも見られるものです。6 キリストは／神の形でありながら／神と等しくあることに固執しようとは思わず7 かえって自分を無にして／僕の形をとり／人間と同じ者になりました。／人間の姿で現れ8 へりくだって、死に至るまで／それも十字架の死に至るまで／従順でした。9 このため、神はキリストを高く上げ／あらゆる名にまさる名を／お与えになりました。10 それは、イエスの御名によって／天上のもの、地上のもの、地下のものすべてが／膝をかがめ11 すべての舌が／「イエス・キリストは主である」と告白して／父なる神が崇められるためです。12 だから、私の愛する人たち、いつも従順であったように、私がいたときだけでなく、いない今はなおさら、恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。13 あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。14 何事も、不平や理屈を言わずに行いなさい。15 そうすれば、とがめられるところのない純真な者となり、ゆがんだ邪悪な時代にあつて、傷のない神の子どもとなつて、この世で星のように輝き、16 命の言葉をしっかり保つでしよう。こうして私は、無駄に走ったわけでも、無駄に労苦したわけでもなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。17 さらに、たとえ、あなたがたの信仰のいけにえと奉仕の上に、私が供え物として注がれることになつたとしても、私は喜びます。あなたがた一同と共に喜びます。18 あなたがたも同じように喜びなさい。私と共に喜びなさい。19 さて、私はあなたがたの様子を知って力づけられたいので、すぐにでもテモテをそちらに遣わすことを、主イエスにあって望んでいます。20 テモテのように私と同じ思いを抱き、親身になつてあなたがたのことを心にかけている者はほかにいません。21 他の人は皆、イエス・キリストのことではなく、自分のことを追い求めています。22 テモテが確かな人物であることは、あなたがたの認めるところです。子が父に仕えるように、彼は私と共に福音に仕えました。23 そこで、私は自分のことの見通しがつき次第すぐ、テモテを送りたいと願っ

ています。24 私自身も間もなくそちらに行けるものと、主あって確信しています。25 ところで私は、エパフロディトをそちらに送り返さねばならないと考えています。彼は私の兄弟、協力者、戦友であり、また、あなたがたの使者として、私の窮乏のときに奉仕してくれましたが、26 あなたがた一同を慕っており、自分の病気があなたがたに知られたことを心苦しく思っているからです。27 実際、彼は瀕死の重病にかかりましたが、神は彼を憐れんでくださいました。彼だけではなく、私をも憐れんで、苦痛を重ねずに済むようにしてくださったのです。28 そういうわけで、大急ぎで彼を送り返します。そうすれば、あなたがたは彼と再会して喜ぶでしょうし、私の苦痛も和らぐでしょう。29 だから、主にある者として大いに歓迎してください。そして、彼のような人々を敬いなさい。30 彼はキリストの業のために命を懸け、死にそうになったからです。私に対するあなたがたの奉仕の足りない分を補おうとしてくれたのです。

**新共同訳, Phil 2** 1 そこで、あなたがたに幾らかでも、キリストによる励まし、愛の慰め、“霊”による交わり、それに慈しみや憐れみの心があるなら、2 同じ思いとなり、同じ愛を抱き、心を合わせ、思いを一つにして、わたしの喜びを満たしてください。3 何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、4 めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。5 互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにもみられるものです。6 キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、7 かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、8 へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。9 このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。10 こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、11 すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。12 だから、わたしの愛する人たち、いつも従順であったように、わたしが共にいるときだけでなく、いない今はなおさら従順でいて、恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。13 あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。14 何事も、不平や理屈を言わずに行いなさい。15 そうすれば、とがめられるところのない清い者となり、よこしまな曲がった時代の中で、非のうちどこ

ろのない神の子として、世にあって星のように輝き、16 命の言葉をしっかり保つでしょう。こうしてわたしは、自分が走ったことが無駄でなく、労苦したことも無駄ではなかったと、キリストの日に誇る事ができるでしょう。17 更に、信仰に基づいてあなたがたがいけにえを献げ、礼拝を行う際に、たとえわたしの血が注がれるとしても、わたしは喜ぶ。あなたがた一同と共に喜ぶ。18 同様に、あなたがたも喜びなさい。わたしと一緒に喜びなさい。19 さて、わたしはあなたがたの様子を知って力づけられたいので、間もなくテモテをそちらに遣わすことを、主イエスによって希望しています。20 テモテのようにわたしと同じ思いを抱いて、親身になってあなたがたのことを心にかけている者はほかにいないのです。21 他の人は皆、イエス・キリストのことはなく、自分のことを追い求めています。22 テモテが確かな人物であることはあなたがたが認めるところであり、息子が父に仕えるように、彼はわたしと共に福音に仕えました。23 そこで、わたしは自分のことの見通しがつきしだいすぐ、テモテを送りたいと願っています。24 わたし自身も間もなくそちらに行けるものと、主によって確信しています。25 ところでわたしは、エパフロディトをそちらに帰さねばならないと考えています。彼はわたしの兄弟、協力者、戦友であり、また、あなたがたの使者として、わたしの窮乏のとき奉仕者となってくれましたが、26 しきりにあなたがた一同と会いたがっており、自分の病気があなたがたに知られたことを心苦しく思っているからです。27 実際、彼はひん死の重病にかかりましたが、神は彼を憐れんでくださいました。彼だけでなく、わたしをも憐れんで、悲しみを重ねずに済むようにしてくださいました。28 そういうわけで、大急ぎで彼を送ります。あなたがたは再会を喜ぶでしょうし、わたしも悲しみが和らぐでしょう。29 だから、主に結ばれている者として大いに歓迎してください。そして、彼のような人々を敬いなさい。30 わたしに奉仕することであなたがたのできない分を果たそうと、彼はキリストの業に命をかけ、死ぬほどの目に遭ったのです。

#### 口語訳 1955, Phil 2<sup>4</sup>

1 そこで、あなたがたに、キリストによる勧め、愛の励まし、御霊の交わり、熱愛とあわれみとが、いくらかでもあるなら、2 どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、一つ思いになって、わたしの喜びを満たしてほしい。3 何事も党派心や虚栄からするのでなく、へりくだった心をもって互に人を自分よりすぐれた者と

<sup>4</sup>日本聖書協会口語訳 1955, 1975, 1984, 2002.

しなさい。4 おのおの、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい。5 キリスト・イエスにあっていただいているのと同じ思いを、あなたがたの間でも互に生かしなさい。6 キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、7 かえって、おのれをむなしくして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。9 それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。10 それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、11 また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。12 わたしの愛する者たちよ。そういうわけだから、あなたがたがいつも従順であったように、わたしが一緒にいる時だけでなく、いない今は、いっそう従順でいて、恐れおののいて自分の救の達成に努めなさい。13 あなたがたのうちに働きかけて、その願いを起させ、かつ実現に至らせるのは神であって、それは神のよしとされるどころだからである。14 すべてのことを、つぶやかず疑わないでしなさい。15 それは、あなたがたが責められるところのない純真な者となり、曲った邪悪な時代のただ中であって、傷のない神の子となるためである。あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。16 このようにして、キリストの日に、わたしは自分の走ったことがむだでなく、労したこともむだではなかったと誇ることができる。17 そして、たとい、あなたがたの信仰の供え物をささげる祭壇に、わたしの血をそそぐことがあっても、わたしは喜ぼう。あなたがた一同と共に喜ぼう。18 同じように、あなたがたも喜びなさい。わたしと共に喜びなさい。19 さて、わたしは、まもなくテモテをあなたがたのところに送りたいと、主イエスにあって願っている。それは、あなたがたの様子を知って、わたしも力づけられたいからである。20 テモテのような心で、親身になってあなたがたのことを心配している者は、ほかにひとりもない。21 人はみな、自分のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことは求めていない。22 しかし、テモテの錬達ぶりは、あなたがたの知っているとおりである。すなわち、子が父に対するようにして、わたしと一緒に福音に仕えてきたのである。23 そこで、この人を、わたしの成行きがわかりしだい、すぐにでも、そちらへ送りたいと願っている。24 わたし自身もまもなく行けるものと、主にあって確信している。25 しかし、さしあたり、わたしの同労者で戦友である兄弟、また、あなたがたの使者としてわたし

の窮乏を補ってくれたエパフロデトを、あなたがたのもとに送り返すことが必要だと思っている。26 彼は、あなたがた一同にしきりに会いたがっているからである。その上、自分の病気のことがあなたがたに聞えたので、彼は心苦しく思っている。27 彼は実に、ひん死の病気にかかったが、神は彼をあわれんで下さった。彼ばかりではなく、わたしをもあわれんで下さったので、わたしは悲しみに悲しみを重ねないですんだのである。28 そこで、大急ぎで彼を送り返す。これで、あなたがたは彼と再び会って喜び、わたしもまた、心配を和らげることができよう。29 こういうわけだから、大いに喜んで、主にあって彼を迎えてほしい。また、こうした人々は尊重せねばならない。30 彼は、わたしに対してあなたがたが奉仕のできなかつた分を補おうとして、キリストのわざのために命をかけ、死ぬばかりになったのである。

#### 新改訳 1970, Phil 2<sup>5</sup>

1 こういうわけですから、もしキリストにあって励ましがあられ、愛の慰めがあり、御霊の交わりがあり、愛情とあわれみがあるなら、2 私の喜びが満たされるように、あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください。3 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。4 自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。5 あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。6 キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができず、7 ご自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。8 キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。9 それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名をお与えになりました。10 それは、イエスの御名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが、ひざをかがめ、11 すべての口が、「イエス・キリストは主である。」と告白して、父なる神がほめたたえられるためです。12 そういうわけですから、愛する人たち、いつも従順であったように、私がいるときだけでなく、私のいない今はなおさら、恐れおののいて自分の救いを達成してください。13 神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。14 すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。15 それは、あ

<sup>5</sup>聖書刊行会新改訳 1970, 2017

あなたがたが、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中であって傷のない神の子どもとなり、16 いのちのことばをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。そうすれば、私は、自分の努力したことがむだではなく、苦労したこともむだでなかったことを、キリストの日に誇ることができます。17 たとい私が、あなたがたの信仰の供え物と礼拝とともに、注ぎの供え物となっても、私は喜びます。あなたがたすべてとともに喜びます。18 あなたがたも同じように喜んでください。私といっしょに喜んでください。19 しかし、私もあなたがたのことを知って励ましを受けたいので、早くテモテをあなたがたのところへ送りたいと、主イエスにあって望んでいます。20 テモテのように私と同じ心になって、真実にあなたがたのことを心配している者は、ほかにだれもいないからです。21 だれもみな自分自身のことを求めるだけで、キリスト・イエスのことを求めてはいません。22 しかし、テモテのりっぱな働きぶりは、あなたがたの知っているところです。子が父に仕えるようにして、彼は私といっしょに福音に奉仕して来ました。23 ですから、私のことがどうなるかがわかりしだい、彼を遣わしたいと望んでいます。24 しかし私自身も近いうちに行けることと、主であって確信しています。25 しかし、私の兄弟、同労者、戦友、またあなたがたの使者として私の窮乏のときに仕えてくれた人エパフロデトは、あなたがたのところへ送らねばならないと思っています。26 彼は、あなたがたすべてを慕い求めており、また、自分の病気があなたがたに伝わったことを気にしているからです。27 ほんとうに、彼は死ぬほどの病気にかかりましたが、神は彼をあわれんでくださいました。彼ばかりでなく私をもあわれんで、私にとって悲しみに悲しみが重なることのないようにしてくださいました。28 そこで、私は大急ぎで彼を送ります。あなたがたが彼に再び会って喜び、私も心配が少なくなるためです。29 ですから、喜びにあふれて、主であって、彼を迎えてください。また、彼のような人々には尊敬を払いなさい。30 なぜなら、彼は、キリストの仕事のために、いのちの危険を冒して死ぬばかりになったからです。彼は私に対して、あなたがたが私に仕えることのできなかつた分を果たそうとしたのです。

**NIV 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 2** <sup>6</sup>

1 Therefore if you have any encouragement from being united with Christ, if any comfort from his love, if

<sup>6</sup>New International Version 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 1

any common sharing in the Spirit, if any tenderness and compassion, 2 then make my joy complete by being like-minded, having the same love, being one in spirit and of one mind. 3 Do nothing out of selfish ambition or vain conceit. Rather, in humility value others above yourselves, 4 not looking to your own interests but each of you to the interests of the others. 5 In your relationships with one another, have the same mindset as Christ Jesus: 6 Who, being in very nature God, did not consider equality with God something to be used to his own advantage; 7 rather, he made himself nothing by taking the very nature of a servant, being made in human likeness. 8 And being found in appearance as a man, he humbled himself by becoming obedient to death—even death on a cross! 9 Therefore God exalted him to the highest place and gave him the name that is above every name, 10 that at the name of Jesus every knee should bow, in heaven and on earth and under the earth, 11 and every tongue acknowledge that Jesus Christ is Lord, to the glory of God the Father. 12 Therefore, my dear friends, as you have always obeyed—not only in my presence, but now much more in my absence—continue to work out your salvation with fear and trembling, 13 for it is God who works in you to will and to act in order to fulfill his good purpose. 14 Do everything without grumbling or arguing, 15 so that you may become blameless and pure, “children of God without fault in a warped and crooked generation.” Then you will shine among them like stars in the sky 16 as you hold firmly to the word of life. And then I will be able to boast on the day of Christ that I did not run or labor in vain. 17 But even if I am being poured out like a drink offering on the sacrifice and service coming from your faith, I am glad and rejoice with all of you. 18 So you too should be glad and rejoice with me. 19 I hope in the Lord Jesus to send Timothy to you soon, that I also may be cheered when I receive news about you. 20 I have no one else like him, who will show genuine concern for your welfare. 21 For everyone looks out for their own interests, not those of Jesus Christ. 22 But you know that Timothy has proved himself, because as a son with his father he has served with me in the work of the gospel. 23 I hope, therefore, to send him as soon as I see how things go with me. 24 And I am confident in the Lord that I myself will come soon. 25 But I think it is necessary to send back to you Epaphroditus, my brother, co-worker and fellow



soldier, who is also your messenger, whom you sent to take care of my needs. 26 For he longs for all of you and is distressed because you heard he was ill. 27 Indeed he was ill, and almost died. But God had mercy on him, and not on him only but also on me, to spare me sorrow upon sorrow. 28 Therefore I am all the more eager to send him, so that when you see him again you may be glad and I may have less anxiety. 29 So then, welcome him in the Lord with great joy, and honor people like him, 30 because he almost died for the work of Christ. He risked his life to make up for the help you yourselves could not give me.

**NRSV 1989, Phil 2** 1 If then there is any encouragement in Christ, any consolation from love, any sharing in the Spirit, any compassion and sympathy, 2 make my joy complete: be of the same mind, having the same love, being in full accord and of one mind. 3 Do nothing from selfish ambition or conceit, but in humility regard others as better than yourselves. 4 Let each of you look not to your own interests, but to the interests of others. 5 Let the same mind be in you that was in Christ Jesus, 6 who, though he was in the form of God, did not regard equality with God as something to be exploited, 7 but emptied himself, taking the form of a slave, being born in human likeness. And being found in human form, 8 he humbled himself and became obedient to the point of death—even death on a cross. 9 Therefore God also highly exalted him and gave him the name that is above every name, 10 so that at the name of Jesus every knee should bend, in heaven and on earth and under the earth, 11 and every tongue should confess that Jesus Christ is Lord, to the glory of God the Father. 12 Therefore, my beloved, just as you have always obeyed me, not only in my presence, but much more now in my absence, work out your own salvation with fear and trembling; 13 for it is God who is at work in you, enabling you both to will and to work for his good pleasure. 14 Do all things without murmuring and arguing, 15 so that you may be blameless and innocent, children of God without blemish in the midst of a crooked and perverse generation, in which you shine like stars in the world. 16 It is by your holding fast to the word of life that I can boast on the day of Christ that I did not run in vain or labor in vain. 17 But even if I am being poured out as a libation over

the sacrifice and the offering of your faith, I am glad and rejoice with all of you—18 and in the same way you also must be glad and rejoice with me. 19 I hope in the Lord Jesus to send Timothy to you soon, so that I may be cheered by news of you. 20 I have no one like him who will be genuinely concerned for your welfare. 21 All of them are seeking their own interests, not those of Jesus Christ. 22 But Timothy's worth you know, how like a son with a father he has served with me in the work of the gospel. 23 I hope therefore to send him as soon as I see how things go with me; 24 and I trust in the Lord that I will also come soon. 25 Still, I think it necessary to send to you Epaphroditus—my brother and co-worker and fellow soldier, your messenger and minister to my need; 26 for he has been longing for all of you, and has been distressed because you heard that he was ill. 27 He was indeed so ill that he nearly died. But God had mercy on him, and not only on him but on me also, so that I would not have one sorrow after another. 28 I am the more eager to send him, therefore, in order that you may rejoice at seeing him again, and that I may be less anxious. 29 Welcome him then in the Lord with all joy, and honor such people, 30 because he came close to death for the work of Christ, risking his life to make up for those services that you could not give me.

**NKJV 1982, Phil 2** 1 Therefore if there is any consolation in Christ, if any comfort of love, if any fellowship of the Spirit, if any affection and mercy, 2 fulfill my joy by being like-minded, having the same love, being of one accord, of one mind. 3 Let nothing be done through selfish ambition or conceit, but in lowliness of mind let each esteem others better than himself. 4 Let each of you look out not only for his own interests, but also for the interests of others. 5 Let this mind be in you which was also in Christ Jesus, 6 who, being in the form of God, did not consider it robbery to be equal with God, 7 but made Himself of no reputation, taking the form of a bondservant, and coming in the likeness of men. 8 And being found in appearance as a man, He humbled Himself and became obedient to the point of death, even the death of the cross. 9 Therefore God also has highly exalted Him and given Him the name which is above every name, 10 that at the name of Jesus every knee should

bow, of those in heaven, and of those on earth, and of those under the earth, 11 and that every tongue should confess that Jesus Christ is Lord, to the glory of God the Father. 12 Therefore, my beloved, as you have always obeyed, not as in my presence only, but now much more in my absence, work out your own salvation with fear and trembling; 13 for it is God who works in you both to will and to do for His good pleasure. 14 Do all things without complaining and disputing, 15 that you may become blameless and harmless, children of God without fault in the midst of a crooked and perverse generation, among whom you shine as lights in the world, 16 holding fast the word of life, so that I may rejoice in the day of Christ that I have not run in vain or labored in vain. 17 Yes, and if I am being poured out as a drink offering on the sacrifice and service of your faith, I am glad and rejoice with you all. 18 For the same reason you also be glad and rejoice with me. 19 But I trust in the Lord Jesus to send Timothy to you shortly, that I also may be encouraged when I know your state. 20 For I have no one like-minded, who will sincerely care for your state. 21 For all seek their own, not the things which are of Christ Jesus. 22 But you know his proven character, that as a son with his father he served with me in the gospel. 23 Therefore I hope to send him at once, as soon as I see how it goes with me. 24 But I trust in the Lord that I myself shall also come shortly. 25 Yet I considered it necessary to send to you Epaphroditus, my brother, fellow worker, and fellow soldier, but your messenger and the one who ministered to my need; 26 since he was longing for you all, and was distressed because you had heard that he was sick. 27 For indeed he was sick almost unto death; but God had mercy on him, and not only on him but on me also, lest I should have sorrow upon sorrow. 28 Therefore I sent him the more eagerly, that when you see him again you may rejoice, and I may be less sorrowful. 29 Receive him therefore in the Lord with all gladness, and hold such men in esteem; 30 because for the work of Christ he came close to death, not regarding his life, to supply what was lacking in your service toward me.

岩波翻訳委員会訳 1995, Phil 2 1そこで、もしも〔あなたがたのうちに〕いくらかでもキリストにある慰めが〔ある〕のなら、もしもいくらかでも愛の励ましが〔あ

る]のなら、もしもいくらかでも霊の交わりが〔ある〕  
のなら、もしもいくらかでも愛の思いと憐れみとが〔ある〕  
のなら、2 あなたがたは私の喜びを満たしてくれる  
ように。それはあなたがたが同じことを思い抱くため  
である。〔すなわち、〕同じ愛を抱き、心を共にし、一つの  
ことを思い抱きながら、3 なにごとをも党派心によって  
ではなく、虚栄心によってでもなく、むしろ謙虚な思い  
によって互いを自分よりも優れた者と考え、4 おのおの  
が自分自身のこと〔ばかり〕にでなく、むしろ他人のこ  
とに〔も〕それぞれに注目しながら〔同じことを思い抱く  
ためである〕。5 このことを、すなわちキリスト・イエス  
においても〔妥当すること〕を、あなたがたのうちにあっ  
て思い抱きなさい。6 キリストは神の形のうちにあった  
が、神と等しくあることを固守すべきものとはみなさず、  
7 むしろ己れ自身を空しくした、奴隷の形をとりつつ。  
さらに人間と似た者になりつつ、人間としての姿におい  
て現れつつ、8 己れ自身を低くした、死に至るまで従順  
になりつつ、しかも十字架の死に〔至るまでも〕。9 そ  
れゆえほかならぬ神は、彼を高く挙げ、すべての名にま  
さる名を彼に賜った。10 それは、イエスの名において、  
天上の者、地上の者、そして地下の者たちの、すべての  
膝がかがめられ、11 すべての舌が、「イエス・キリスト  
は主なり」と告白するためである、父なる神の栄光のた  
めに。12 かくして、私の愛する者たちよ、あなたがたが  
いつも従順であったように、私が〔あなたがたのところ  
に〕いる時のみでなく、むしろいない今は、よりいっそ  
う〔従順になり〕、恐れとおののきとをもって、己れ自  
身の救いを獲得しなさい。13 というのも、〔自らの〕意  
にかなったことがらのために、あなたがたのうちにあっ  
て〔あなたがたに〕働きかけ、願いを起こさせ、働きを  
なさしめる方は、まさに神だからである。14 あなたが  
たはすべてのことを、つぶやきや憂慮なしに行ないな  
さい。15 それはあなたがたが、曲がった、そして脇道に逸  
れてしまったこの世代のただ中であって、責められると  
ころのない、そして純真な者たち、すなわち傷のない神  
の子供たちとなるためである。あなたがたはその〔世代  
の〕うちにあって、宇宙の中の星々のように輝いている  
——16 いのちの言葉を堅く守りながら。そのことは  
私にとって、キリストの日における誇りとなる。なぜな  
らば、私は空しくは走らなかつたし、空しく労すること  
もしなかつた〔ことになる〕からである。17 然り、たと  
え私が〔自分の血を〕、あなたがたの信仰の供え物と儀式  
の上に〔神酒のごとくに〕注がせられるとしても、私は  
喜ぶし、あなたがたすべてと共に喜ぶ。18 まったく同  
じように、あなたがたも喜びなさい。私と共に喜びな  
さい。19 さて私は、あなたがたの消息を知ることによって

私もまた元気になるために、早くテモテをあなたがたのところに派遣〔できる〕ようにと、主イエスにあって望んでいる。500220 なぜならば私は、彼と同じ〔ほどの〕心であなたがたについて真実に配慮している者を、〔他には〕誰一人知らないからである。21 すべての者は自分自身のことがらは熱心に求めるが、イエス・キリストのことがらは〔求めは〕しない。22 しかしあなたがたはテモテの〔筋金入りの〕資質を知っている。というのは、彼は、父親に対する子供のようにして、私と共に福音のために仕えたのだからである。23 そこで私はその彼を、私の事情に見通しが立ち次第、すぐに派遣したいと望んでいる。24 そして私自身もまた早く〔そちらに〕行〔ける〕であろうと、主において私は確信している。25 しかし私は、私の兄弟、そして同労者、そして共闘者であり、あなたがた〔から〕の使者、そして私の窮乏〔の時〕の奉仕者であるエパフロデトスを、あなたがたのところに送り〔返す〕ことが必要であると考えた。26 というのは、彼はあなたがたすべてを慕っていたし、彼が病気になったということをあなたがたが聞き知ったために、〔彼は〕心を痛めていたからである。27 実際、彼は病気になり、ほとんど死ぬほどであったが、しかし神は彼を憐れんで下さった。否、彼のみならず、私をも憐れんで下さり、その結果、私は悲しみの上に悲しみを重ねなくてすんだのである。28 そこで私は、大急ぎで彼を送り〔返す〕。それはあなたがたが彼を見て再び喜ぶためであり、私もまた、悲しみをより和らげるためである。29 したがってあなたがたは、主においてすべての喜びをもって彼を受け容れてくれるように。そしてこのような人たちを尊敬するように。30 なぜならば彼は、私に対するあなたがたの献金の不足分を満たすために、いのちを危険にさらして、キリストの業のゆえに、瀕死の状態にまで陥ったのだからである。

### 3.3 フィリピの信徒への手紙第3章

聖書協会共同訳, Phil 3 1では、私のきょうだいたち、主において喜びなさい。同じことをもう一度書きますが、これは私には煩わしいことではなく、あなたがたにとって安全なことなのです。2 あの犬どもに気をつけなさい。悪い働き手たちに気をつけなさい。形だけ割礼を受けた者に気をつけなさい。3 神の霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇りとし、肉を頼みとしない私たちこそ真の割礼を受けた者です。4 とはいえ、肉の頼みなら、私にもあります。肉を頼みとしようと思う人がいるなら、私はなおさらのことです。5 私は生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の

出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派、6 熱心さの点では教会の迫害者、律法の義に関しては非の打ちどころのない者でした。7 しかし、私にとって利益であったこれらのことを、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。8 そればかりか、私の主イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失と見ています。キリストのゆえに私はすべてを失いましたが、それらを今は屑と考えています。キリストを得、9 キリストの内にいる者と認められるためです。私には、律法による自分の義ではなく、キリストの真実による義、その真実に基づいて神から与えられる義があります。10 私は、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、11 何とかして死者の中からの復活に達したいのです。12 私は、すでにそれを得たというわけではなく、すでに完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスによって捕らえられているからです。13 きょうだいたち、私自身はすでに捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。15 だから、完全な者は誰でも、このように考えるべきです。しかし、あなたがたが何か別の考え方をしているなら、神はそのことも明らかにしてください。16 いずれにせよ、私たちは到達したところに基づいて進みましょう。17 きょうだいたち、皆一緒に私に倣う者となりなさい。また、あなたがたと同じように、私たちを模範として歩んでいる人々に目を向けなさい。18 何度も言ってきたし、今また涙ながらに言いますが、キリストの十字架の敵として歩んでいる者が多いのです。19 彼らの行き着くところは滅びです。彼らは腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、地上のことしか考えていません。20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから、救い主である主イエス・キリストが来られるのを、私たちは待ち望んでいます。21 キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によって、私たちの卑しい体を、ご自身の栄光の体と同じ形に変えてくださるのです。

**新共同訳, Phil 3** 1では、わたしの兄弟たち、主において喜びなさい。同じことをもう一度書きますが、これはわたしには煩わしいことではなく、あなたがたにとって安全なことなのです。2 あの犬どもに注意しなさい。よこしまな働き手たちに気をつけなさい。切り傷にすぎな

い割礼を持つ者たちを警戒しなさい。3 彼らではなく、わたしたちこそ真の割礼を受けた者です。わたしたちは神の霊によって礼拝し、キリスト・イエスを誇りとし、肉に頼らないからです。4 とはいえ、肉にも頼ろうと思えば、わたしは頼れなくはない。だれかほかに、肉に頼れると思う人がいるなら、わたしはなおさらのことです。5 わたしは生まれて八日目に割礼を受け、イスラエルの民に属し、ベニヤミン族の出身で、ヘブライ人の中のヘブライ人です。律法に関してはファリサイ派の一員、6 熱心さの点では教会の迫害者、律法の義については非のうちどころのない者でした。7 しかし、わたしにとって有利であったこれらのことを、キリストのゆえに損失と見なすようになったのです。8 そればかりか、わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくたと思なしています。キリストを得、9 キリストの内にいる者と認められるためです。わたしには、律法から生じる自分の義ではなく、キリストへの信仰による義、信仰に基づいて神から与えられる義があります。10 わたしは、キリストとその復活の力を知り、その苦しみにあずかって、その死の姿にあやかりながら、11 何とかして死者の中からの復活に達したいのです。12 わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません。何とかして捕らえようと努めているのです。自分がキリスト・イエスに捕らえられているからです。13 兄弟たち、わたし自身は既に捕らえたとは思っていません。なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、14 神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです。15 だから、わたしたちの中で完全な者はだれでも、このように考えるべきです。しかし、あなたがたに何か別の考えがあるなら、神はそのことをも明らかにしてください。16 いずれにせよ、わたしたちは到達したところに基づいて進むべきです。17 兄弟たち、皆一緒にわたしに倣う者となりなさい。また、あなたがたと同じように、わたしたちを模範として歩んでいる人々に目を向けなさい。18 何度も言ってきたし、今また涙ながらに言いますが、キリストの十字架に敵対して歩んでいる者が多いのです。19 彼らの行き着くところは滅びです。彼らは腹を神とし、恥ずべきものを誇りとし、この世のことしか考えていません。20 しかし、わたしたちの本国は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、わたしたちは待っています。21 キリストは、万物を支配下に置くことさえできる力によっ

て、わたしたちの卑しい体を、御自分の栄光ある体と同じ形に変えてくださるのです。

### 口語訳 1955, Phil 3<sup>7</sup>

1 最後に、わたしの兄弟たちよ。主にあって喜びなさい。さきに書いたのと同じことをここで繰り返すが、それは、わたしには煩らわしいことではなく、あなたがたには安全なことになる。2 あの犬どもを警戒しなさい。悪い働き人たちを警戒しなさい。肉に割礼の傷をつけている人たちを警戒しなさい。3 神の霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇とし、肉を頼みとしないわたしたちこそ、割礼の者である。4 もとより、肉の頼みなら、わたしにも無くはない。もし、だれかほかの人が肉を頼みとしていると言うなら、わたしはそれをもっと頼みとしている。5 わたしは八日目に割礼を受けた者、イスラエルの民族に属する者、ベニヤミン族の出身、ヘブル人の中のヘブル人、律法の上ではパリサイ人、6 熱心の点では教会の迫害者、律法の義については落ち度のない者である。7 しかし、わたしにとって益であったこれらのものを、キリストのゆえに損と思うようになった。8 わたしは、更に進んで、わたしの主キリスト・イエスを知る知識の絶大な価値のゆえに、いっさいのものを損と思っている。キリストのゆえに、わたしはすべてを失ったが、それらのものを、ふん土のように思っている。それは、わたしがキリストを得るためであり、9 律法による自分の義ではなく、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基く神からの義を受けて、キリストのうちに自分を見いだすようになるためである。10 すなわち、キリストとその復活の力を知り、その苦難にあずかって、その死のさまとひとしくなり、11 なんとかして死人のうちからの復活に達したいのである。12 わたしがすでにそれを得たとか、すでに完全な者になっているとか言うのではなく、ただ捕えようとして追い求めているのである。そうするのは、キリスト・イエスによって捕えられているからである。13 兄弟たちよ。わたしはすでに捕えたとは思っていない。ただこの一事を努めている。すなわち、後のものを忘れ、前のものに向かってからだを伸ばしつつ、14 目標を目ざして走り、キリスト・イエスにおいて上に召して下さる神の賞与を得ようと努めているのである。15 だから、わたしたちの中で全き人たちは、そのように考えるべきである。しかし、あなたがたが違った考えを持っているなら、神はそのことも示して下さるであろう。16 ただ、わたしたちは、達し得たところに従って進むべきである。17 兄弟たちよ。ど

<sup>7</sup>日本聖書協会口語訳 1955, 1975, 1984, 2002.



うか、わたしにならう者となってほしい。また、あなたがたの模範にされているわたしたちにならって歩く人たちに、目をとめなさい。18 わたしがそう言うのは、キリストの十字架に敵対して歩いている者が多いからである。わたしは、彼らのことをしばしばあなたがたに話したが、今また涙を流して語る。19 彼らの最後は滅びである。彼らの神はその腹、彼らの栄光はその恥、彼らの思いは地上のことである。20 しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。21 彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう。

### 新改訳 1970, Phil 3<sup>8</sup>

1 最後に、私の兄弟たち。主にあって喜びなさい。前と同じことを書きますが、これは、私には煩わしいことではなく、あなたがたの安全のためにもなることです。2 どうか犬に気をつけてください。悪い働き人に気をつけてください。肉体だけの割礼の者に気をつけてください。3 神の御霊によって礼拝をし、キリスト・イエスを誇り、人間的なものを頼みにしない私たちのほうこそ、割礼の者なのです。4 ただし、私は、人間的なものにおいても頼むところがあります。もし、ほかの人が人間的なものに頼むところがあると思うなら、私は、それ以上です。5 私は八日目の割礼を受け、イスラエル民族に属し、ベニヤミンの分かれの者です。きつすいのヘブル人で、律法についてはパリサイ人、6 その熱心は教会を迫害したほどで、律法による義についてならば非難されるところのない者です。7 しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。8 それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにとってすべてのものを捨てて、それらをちりあくたと思っています。それは、私には、キリストを得、また、9 キリストの中にある者と認められ、律法による自分の義ではなくて、キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。10 私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり、11 どうにかして、死者の中からの復活に達したいのです。12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているの

<sup>8</sup>聖書刊行会新改訳 1970, 2017

でもありません。ただ捕えようとして、追求しているのです。そして、それを得るようとキリスト・イエスが私を捕えてくださったのです。13 兄弟たちよ。私は、自分はすでに捕えたなどと考えてはいません。ただ、この一事に励んでいます。すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、14 キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。15 ですから、成人である者はみな、このような考え方をしましょう。もし、あなたがたがどこかでこれと違った考え方をしているなら、神はそのこともあなたがたに明らかにしてください。16 それはそれとして、私たちはすでに達しているところを基準として、進むべきです。17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。20 けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

### **NIV 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 3<sup>9</sup>**

1 Further, my brothers and sisters, rejoice in the Lord! It is no trouble for me to write the same things to you again, and it is a safeguard for you. 2 Watch out for those dogs, those evildoers, those mutilators of the flesh. 3 For it is we who are the circumcision, we who serve God by his Spirit, who boast in Christ Jesus, and who put no confidence in the flesh—4 though I myself have reasons for such confidence. If someone else thinks they have reasons to put confidence in the flesh, I have more: 5 circumcised on the eighth day, of the people of Israel, of the tribe of Benjamin, a Hebrew of Hebrews; in regard to the law, a Pharisee; 6 as for zeal, persecuting the church; as for righteousness based on the law, faultless. 7 But whatever were gains to me I now consider loss for the sake of Christ. 8 What is more, I consider everything a loss because of the surpassing

<sup>9</sup>New International Version 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 1

worth of knowing Christ Jesus my Lord, for whose sake I have lost all things. I consider them garbage, that I may gain Christ 9 and be found in him, not having a righteousness of my own that comes from the law, but that which is through faith in Christ—the righteousness that comes from God on the basis of faith. 10 I want to know Christ—yes, to know the power of his resurrection and participation in his sufferings, becoming like him in his death, 11 and so, somehow, attaining to the resurrection from the dead. 12 Not that I have already obtained all this, or have already arrived at my goal, but I press on to take hold of that for which Christ Jesus took hold of me. 13 Brothers and sisters, I do not consider myself yet to have taken hold of it. But one thing I do: Forgetting what is behind and straining toward what is ahead, 14 I press on toward the goal to win the prize for which God has called me heavenward in Christ Jesus. 15 All of us, then, who are mature should take such a view of things. And if on some point you think differently, that too God will make clear to you. 16 Only let us live up to what we have already attained. 17 Join together in following my example, brothers and sisters, and just as you have us as a model, keep your eyes on those who live as we do. 18 For, as I have often told you before and now tell you again even with tears, many live as enemies of the cross of Christ. 19 Their destiny is destruction, their god is their stomach, and their glory is in their shame. Their mind is set on earthly things. 20 But our citizenship is in heaven. And we eagerly await a Savior from there, the Lord Jesus Christ, 21 who, by the power that enables him to bring everything under his control, will transform our lowly bodies so that they will be like his glorious body.

**NRSV 1989, Phil 3** 1 Finally, my brothers and sisters, rejoice in the Lord. To write the same things to you is not troublesome to me, and for you it is a safeguard. 2 Beware of the dogs, beware of the evil workers, beware of those who mutilate the flesh! 3 For it is we who are the circumcision, who worship in the Spirit of God and boast in Christ Jesus and have no confidence in the flesh—4 even though I, too, have reason for confidence in the flesh. If anyone else has reason to be confident in the flesh, I have more: 5 circumcised on the eighth day, a member of the people of Israel, of the tribe of

Benjamin, a Hebrew born of Hebrews; as to the law, a Pharisee; 6 as to zeal, a persecutor of the church; as to righteousness under the law, blameless. 7 Yet whatever gains I had, these I have come to regard as loss because of Christ. 8 More than that, I regard everything as loss because of the surpassing value of knowing Christ Jesus my Lord. For his sake I have suffered the loss of all things, and I regard them as rubbish, in order that I may gain Christ 9 and be found in him, not having a righteousness of my own that comes from the law, but one that comes through faith in Christ, the righteousness from God based on faith. 10 I want to know Christ and the power of his resurrection and the sharing of his sufferings by becoming like him in his death, 11 if somehow I may attain the resurrection from the dead. 12 Not that I have already obtained this or have already reached the goal; but I press on to make it my own, because Christ Jesus has made me his own. 13 Beloved, I do not consider that I have made it my own; but this one thing I do: forgetting what lies behind and straining forward to what lies ahead, 14 I press on toward the goal for the prize of the heavenly call of God in Christ Jesus. 15 Let those of us then who are mature be of the same mind; and if you think differently about anything, this too God will reveal to you. 16 Only let us hold fast to what we have attained. 17 Brothers and sisters, join in imitating me, and observe those who live according to the example you have in us. 18 For many live as enemies of the cross of Christ; I have often told you of them, and now I tell you even with tears. 19 Their end is destruction; their god is the belly; and their glory is in their shame; their minds are set on earthly things. 20 But our citizenship is in heaven, and it is from there that we are expecting a Savior, the Lord Jesus Christ. 21 He will transform the body of our humiliation that it may be conformed to the body of his glory, by the power that also enables him to make all things subject to himself.

**NKJV 1982, Phil 3** 1 Finally, my brethren, rejoice in the Lord. For me to write the same things to you is not tedious, but for you it is safe. 2 Beware of dogs, beware of evil workers, beware of the mutilation! 3 For we are the circumcision, who worship God in the Spirit, rejoice in Christ Jesus, and have no confidence in

the flesh, 4 though I also might have confidence in the flesh. If anyone else thinks he may have confidence in the flesh, I more so: 5 circumcised the eighth day, of the stock of Israel, of the tribe of Benjamin, a Hebrew of the Hebrews; concerning the law, a Pharisee; 6 concerning zeal, persecuting the church; concerning the righteousness which is in the law, blameless. 7 But what things were gain to me, these I have counted loss for Christ. 8 Yet indeed I also count all things loss for the excellence of the knowledge of Christ Jesus my Lord, for whom I have suffered the loss of all things, and count them as rubbish, that I may gain Christ 9 and be found in Him, not having my own righteousness, which is from the law, but that which is through faith in Christ, the righteousness which is from God by faith; 10 that I may know Him and the power of His resurrection, and the fellowship of His sufferings, being conformed to His death, 11 if, by any means, I may attain to the resurrection from the dead. 12 Not that I have already attained, or am already perfected; but I press on, that I may lay hold of that for which Christ Jesus has also laid hold of me. 13 Brethren, I do not count myself to have apprehended; but one thing I do, forgetting those things which are behind and reaching forward to those things which are ahead, 14 I press toward the goal for the prize of the upward call of God in Christ Jesus. 15 Therefore let us, as many as are mature, have this mind; and if in anything you think otherwise, God will reveal even this to you. 16 Nevertheless, to the degree that we have already attained, let us walk by the same rule, let us be of the same mind. 17 Brethren, join in following my example, and note those who so walk, as you have us for a pattern. 18 For many walk, of whom I have told you often, and now tell you even weeping, that they are the enemies of the cross of Christ: 19 whose end is destruction, whose god is their belly, and whose glory is in their shame—who set their mind on earthly things. 20 For our citizenship is in heaven, from which we also eagerly wait for the Savior, the Lord Jesus Christ, 21 who will transform our lowly body that it may be conformed to His glorious body, according to the working by which He is able even to subdue all things to Himself.

岩波翻訳委員会訳 1995, Phil 3 1 最後に、私の兄弟たちよ、主にあってあなたがたは喜びなさい。同じこと

をあなたがたに書くことは、私にとっては煩わしいことではなく、〔むしろ〕あなたがたを堅固にすることである。2 あなたがたはあの犬たちに注意しなさい。あの悪しき働き人たちに注意しなさい。あの切断〔の者たち〕に注意しなさい。3 なぜならば、私たちこそが割礼〔の者〕だからである。〔すなわち、〕神の霊によって礼拝をなし、キリスト・イエスを〔こそ〕誇り、肉に信頼をおいてはいない者〔としての私〕たちである。4 もっとも私は、肉への信頼ももっていないわけではない。／もしも誰か他の人が、肉を信頼する〔ことができる〕と考えているとするなら、私はよりいっそう〔そうである〕。5 〔すなわち私は、〕八日目に割礼を受けた者、イスラエル民族、〔とくに〕ベニヤミン族出身の者、ヘブル人の中のヘブル人、律法の点からすればファリサイ人、6 熱心さの点からすれば教会を迫害し〔続け〕た者、律法による義の点からすれば責められるところのない者となった者〔である〕。7 〔しかし〕私にとって益であったものすべてを、〔然り〕それらを、私はキリストのゆえに損失と思うようになってしまっている。8 否、そればかりか、私は私の主キリスト・イエスについての知識の卓越したすばらしさのゆえに、すべてのものを損失であるとさえ思っている。そのキリストのゆえに、私はすべてを失った。そして私は、〔それらを〕屑と思っている。それは、私がキリストを得、9 彼のうちに見いだされるためである。〔その際、〕私は律法による私の義を与えられているのではなく、むしろキリストへの信仰による義、信仰に基づく神からの義を与えられているのである。10 それはキリストを、そして彼の甦りの力を知り、そして彼の死と同じ形にされながら、彼の〔それらの〕苦難に参加する〔すべ〕を知るためである。11 〔こうして〕なんとかして死人たち〔の中〕からの甦りに私は到達したいのである。12 私がすでに得たとか、あるいはすでに完全にされてしまっているとかいうこと〔が事実なの〕ではなく、むしろなんとかして捕らえたいと、私は追い求めている。それはキリスト〔・イエス〕によって私が捕らえられたからである。13 兄弟たちよ、私は私自身が捕らえてしまっているとは考えていない。むしろ、〔ただ〕一つのこと、すなわち、後のものを忘れ、前のものへと身を伸ばしつつ、14 目標をめざして追い求める〔ようにのみ努めている〕。すなわちキリスト・イエスにおける神の、上への召しという賞をめざして〔いるのである〕。15 それゆえに、すべて「完全な者」たちは、このことを思い抱こうではないか。そしてもしもあなたがたが何か別様なことを思い抱いているのだとしたら、そのことをも神はあなたがたに啓示して下さるであろう。16 ただ私たちは、自分たちが到達したところ、それを堅持すべ

きである。17 兄弟たちよ、あなたがたは共に私に倣う者となりなさい。そして、あなたがたと同様に私たちを模範として歩んでいる人たちに、目をとめなさい。18 というのも、多くの人たちが ——彼らについて私はあなたがたにしばしば語ったし、今は涙にくれながら言うが ——キリストの十字架の敵として歩んでいるからである。19 彼らの最後は滅びであり、彼らの神は〔自分の〕腹であり、そして〔彼らの〕栄光は彼らの恥のうちであり、彼らは地上のことがら〔をのみ〕思い抱いている。20 なぜならば、私たちの本国は天にあるからであり、そこから救い主なる主イエス・キリスト〔が来られるの〕を、私たちは待ち望んでいるからである。21 この彼はすべてのものを彼に従わせることのできる力によって、私たちの卑賤のからだを〔も〕、彼の栄光のからだと同様な形に変容して下さるであろう。

### 3.4 フィリピの信徒への手紙第4章

聖書協会共同訳, Phil 4 1 ですから、私が愛し、慕っているきょうだいたち、私の喜びであり、冠である愛する人たち、このように、主にあってしっかりと立ちなさい。2 私はエボディアに勧め、またシンティケに勧めます。主にあって同じ思いを抱きなさい。3 なお、真の協力者よ、あなたにもお願いします。彼女たちを助けてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンズや他の協力者たちと力を合わせて、福音のために私と共に戦ってくれたのです。4 主にあっていつも喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。5 あなたがたの寛容な心をすべての人に知らせなさい。主は近いのです。6 何事も思い煩ってはなりません。どんな場合にも、感謝を込めて祈りと願いを献げ、求めているものを神に打ち明けなさい。7 そうすれば、あらゆる人知を超えた神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスにあって守るでしょう。8 なお、きょうだいたち、すべて真実なこと、すべて尊いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて評判のよいことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。9 私から学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたと共におられます。10 さて、あなたがたが私への心遣いを、ついにまた表してくれたことを、私は主にあって非常に喜びました。今までは思いはあっても、それを表す機会がなかったのでしょうか。11 物欲しさにこう言うのではありません。私は、自分の置かれた境遇に満足することを学びました。12 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹するこ

とにも、飢えることにも、有り余ることにも、乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。13 私を強めてくださる方のお陰で、私にはすべてが可能です。14 それにしても、あなたがたは、よく私と苦しみを共にしてくれました。15 フィリピの人たち、あなたがたも知っているとおりに、私が福音の宣教の初めにマケドニアから出かけて行ったとき、会計を共にしてくれた教会は、あなたがたのほかにも一つありませんでした。16 テサロニケにいたときにも、あなたがたは私の窮乏を救おうとして、何度も物を送ってくれました。17 贈り物を当てにして言うわけではありません。むしろ、あなたがたの帳簿を黒字にする実りを求めているのです。18 私はあらゆるものを受けており、有り余るほどです。そちらからの贈り物をエパフロディトから受け取って、満ち足りています。それはかぐわしい香りであり、神が喜んで受けてくださるいけにえです。19 私の神は、ご自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスにあって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてください。20 私たちの父なる神に、栄光が世々限りなくありますように、アーメン。21 キリスト・イエスにあるすべての聖なる者によろしく。私と一緒にいるきょうだいたちも、あなたがたによろしくと言っています。22 すべての聖なる者たちから、特に皇帝の家の人たちから、あなたがたによろしくとのこと。23 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にありますように。

**新共同訳, Phil 4** 1 だから、わたしが愛し、慕っている兄弟たち、わたしの喜びであり、冠である愛する人たち、このように主によってしっかりと立ちなさい。2 わたしはエボディアに勧め、またシンティケに勧めます。主において同じ思いを抱きなさい。3 なお、真実の協力者よ、あなたにもお願いします。この二人の婦人を支えてあげてください。二人は、命の書に名を記されているクレメンズや他の協力者たちと力を合わせて、福音のためにわたしと共に戦ってくれたのです。4 主において常に喜びなさい。重ねて言います。喜びなさい。5 あなたがたの広い心がすべての人に知られるようになさい。主はすぐ近くにおられます。6 どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。7 そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。8 終わりに、兄弟たち、すべて真実なこと、すべて気高いこと、すべて正しいこと、すべて清いこと、すべて愛す



べきこと、すべて名誉なことを、また、徳や称賛に値することがあれば、それを心に留めなさい。9 わたしから学んだこと、受けたこと、わたしについて聞いたこと、見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神はあなたがたと共におられます。10 さて、あなたがたがわたしへの心遣いを、ついにまた表してくれたことを、わたしは主において非常に喜びました。今までは思いはあっても、それを表す機会がなかったのでしょうか。11 物欲しさにこう言っているのではありません。わたしは、自分の置かれた境遇に満足することを習い覚えたのです。12 貧しく暮らすすべも、豊かに暮らすすべも知っています。満腹していても、空腹であっても、物が有り余っていても不足していても、いついかなる場合にも対処する秘訣を授かっています。13 わたしを強めてくださる方のお陰で、わたしにはすべてが可能です。14 それにしても、あなたがたは、よくわたしと苦しみを共にしてくれました。15 フィリピンの人たち、あなたがたも知っているとおりに、わたしが福音の宣教の初めにマケドニア州を出たとき、もののやり取りでわたしの働きに参加した教会はあなたがたのほかにも一つもありませんでした。16 また、テサロニケにいたときにも、あなたがたはわたしの窮乏を救おうとして、何度も物を送ってくれました。17 贈り物を当てにして言うわけではありません。むしろ、あなたがたの益となる豊かな実を望んでいるのです。18 わたしはあらゆるものを受けており、豊かになっています。そちらからの贈り物をエパフロディトから受け取って満ち足りています。それは香ばしい香りであり、神が喜んで受けてくださるいけにえです。19 わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてください。20 わたしたちの父である神に、栄光が世々限りなくありますように、アーメン。21 キリスト・イエスに結ばれているすべての聖なる者たちに、よろしく伝えてください。わたしと一緒にいる兄弟たちも、あなたがたによろしくと言っています。22 すべての聖なる者たちから、特に皇帝の家の人たちからよろしくとのことです。23 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。

#### 口語訳 1955, Phil 4<sup>10</sup>

1 だから、わたしの愛し慕っている兄弟たちよ。わたしの喜びであり冠である愛する者たちよ。このように、主にあって堅く立ちなさい。2 わたしはユウオデヤに勧め、またセントケに勧める。どうか、主にあって一つ思

<sup>10</sup>日本聖書協会口語訳 1955, 1975, 1984, 2002.

いになってほしい。3 ついては、真実な協力者よ。あなたにお願いする。このふたりの女を助けてあげなさい。彼らは、「いのちの書」に名を書きとめられているクレメンスや、その他の同労者たちと協力して、福音のためにわたしと共に戦ってくれた女たちである。4 あなたがたは、主にあっていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。5 あなたがたの寛容を、みんなの人に示しなさい。主は近い。6 何事も思い煩ってはならない。ただ、事ごとに、感謝をもって祈と願いとをささげ、あなたがたの求めるところを神に申し上げるがよい。7 そうすれば、人知ではどうも測り知ることのできない神の平安が、あなたがたの心と思いとを、キリスト・イエスにあって守るであろう。8 最後に、兄弟たちよ。すべて真実なこと、すべて尊ぶべきこと、すべて正しいこと、すべて純真なこと、すべて愛すべきこと、すべてほまれあること、また徳といわれるもの、称賛に値するものがあれば、それらのものを心にとめなさい。9 あなたがたが、わたしから学んだこと、受けたこと、聞いたこと、見たことは、これを実行しなさい。そうすれば、平和の神が、あなたがたと共にいますであろう。10 さて、わたしが主にあって大いに喜んでいるのは、わたしを思う心が、あなたがたに今またついに芽ばえてきたことである。実は、あなたがたは、わたしのことを心にかけてくれてはいたが、よい機会がなかったのである。11 わたしは乏しいから、こう言うのではない。わたしは、どんな境遇にあっても、足ることを学んだ。12 わたしは貧に処する道を知っており、富における道も知っている。わたしは、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、ありとあらゆる境遇に処する秘けつを心得ている。13 わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。14 しかし、あなたがたは、よくもわたしと患難を共にしてくれた。15 ピリピの人たちよ。あなたがたも知っているとおおり、わたしが福音を宣伝し始めたころ、マケドニヤから出かけて行った時、物のやりとりをしてわたしの働きに参加した教会は、あなたがたのほかには全く無かった。16 またテサロニケでも、一再ならず、物を送ってわたしの欠乏を補ってくれた。17 わたしは、贈り物を求めているのではない。わたしの求めているのは、あなたがたの勘定をふやしていく果実なのである。18 わたしは、すべての物を受けてあり余るほどである。エパフロデトから、あなたがたの贈り物をいただいて、飽き足りている。それは、かんばしいかおりであり、神の喜んで受けて下さる供え物である。19 わたしの神は、ご自身の栄光の富の中から、あなたがたのいっさいの必要を、キリスト・イエスにあって満たして下さるであろう。20 わたしたちの父なる神

に、栄光が世々限りなくあるように、アアメン。21 キリスト・イエスにある聖徒のひとりびとりに、よろしく。わたしと一緒にいる兄弟たちから、あなたがたによろしく。22 すべての聖徒たちから、特にカイザルの家の者たちから、よろしく。23 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共にあるように。

#### 新改訳 1970, Phil 4 <sup>11</sup>

1 そういうわけですから、私の愛し慕う兄弟たち、私の喜び、冠よ。どうか、このように主にあってしっかりと立ってください。私の愛する人たち。2 ユウオデヤに勧め、ストケに勧めます。あなたがたは、主にあって一致してください。3 ほんとうに、真の協力者よ。あなたにも頼みます。彼女たちを助けてやってください。この人たちは、いのちの書に名のしるされているクレメンスや、そのほかの私の同労者たちとともに、福音を広めることで私に協力して戦ったのです。4 いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。5 あなたがたの寛容な心を、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。6 何も思い煩わないで、あらゆるばあいに、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。7 そうすれば、人のすべての考えにまさる神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。8 最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。9 あなたがたが私から学び、受け、聞き、また見たことを実行しなさい。そうすれば、平和の神があなたがたとともにいてくださいます。10 私のことを心配してくれるあなたがたの心が、今ついによみがえって来たことを、私は主にあって非常に喜んでいますが、機会がなかったのです。11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満ち足りることを学びました。12 私は、貧しさの中にいる道も知っており、豊かさの中にいる道も知っています。また、飽くことにも飢えることにも、富むことにも乏しいことにも、あらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。13 私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです。14 それにしても、あなたがたは、よく私と困難を分け合ってくださいました。15 ピリピの人たち。あなたがたも知っているとおりに、私が福音を宣べ伝

<sup>11</sup> 聖書刊行会新改訳 1970, 2017

え始めたころ、マケドニヤを離れて行ったときには、私の働きのために、物をやり取りしてくれた教会は、あなたがたのほかには一つもありませんでした。16 テサロニケにいたときでさえ、あなたがたは一度ならず二度までも物を送って、私の乏しさを補ってくれました。17 私は贈り物を求めているではありません。私のほしいのは、あなたがたの収支を償わせて余りある霊的祝福なのです。18 私は、すべての物を受けて、満ちあふれています。エパフロデトからあなたがたの贈り物を受けたので、満ち足りています。それは香ばしいかおりであって、神が喜んで受けてくださる供え物です。19 また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてください。20 どうか、私たちの父なる神に御栄えがとこしえにありますように。アーメン。21 キリスト・イエスにある聖徒のひとりひとりに、よろしく伝えてください。私といっしょにいる兄弟たちが、あなたがたによろしくと言っています。22 聖徒たち全員が、そして特に、カイザルの家に属する人々が、よろしくと言っています。23 どうか、主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊とともにありますように。

**NIV 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 4** <sup>12</sup>

1 Therefore, my brothers and sisters, you whom I love and long for, my joy and crown, stand firm in the Lord in this way, dear friends! 2 I plead with Euodia and I plead with Syntyche to be of the same mind in the Lord. 3 Yes, and I ask you, my true companion, help these women since they have contended at my side in the cause of the gospel, along with Clement and the rest of my co-workers, whose names are in the book of life. 4 Rejoice in the Lord always. I will say it again: Rejoice! 5 Let your gentleness be evident to all. The Lord is near. 6 Do not be anxious about anything, but in every situation, by prayer and petition, with thanksgiving, present your requests to God. 7 And the peace of God, which transcends all understanding, will guard your hearts and your minds in Christ Jesus. 8 Finally, brothers and sisters, whatever is true, whatever is noble, whatever is right, whatever is pure, whatever is lovely, whatever is admirable—if anything is excellent or praiseworthy—think about such things. 9 Whatever you have learned or received or heard from me, or seen in me—put it into practice. And the God of peace will be with

<sup>12</sup>New International Version 1973, 1978, 1984, 2011, Phil 1

you. 10 I rejoiced greatly in the Lord that at last you renewed your concern for me. Indeed, you were concerned, but you had no opportunity to show it. 11 I am not saying this because I am in need, for I have learned to be content whatever the circumstances. 12 I know what it is to be in need, and I know what it is to have plenty. I have learned the secret of being content in any and every situation, whether well fed or hungry, whether living in plenty or in want. 13 I can do all this through him who gives me strength. 14 Yet it was good of you to share in my troubles. 15 Moreover, as you Philippians know, in the early days of your acquaintance with the gospel, when I set out from Macedonia, not one church shared with me in the matter of giving and receiving, except you only; 16 for even when I was in Thessalonica, you sent me aid more than once when I was in need. 17 Not that I desire your gifts; what I desire is that more be credited to your account. 18 I have received full payment and have more than enough. I am amply supplied, now that I have received from Epaphroditus the gifts you sent. They are a fragrant offering, an acceptable sacrifice, pleasing to God. 19 And my God will meet all your needs according to the riches of his glory in Christ Jesus. 20 To our God and Father be glory for ever and ever. Amen. 21 Greet all God's people in Christ Jesus. The brothers and sisters who are with me send greetings. 22 All God's people here send you greetings, especially those who belong to Caesar's household. 23 The grace of the Lord Jesus Christ be with your spirit. Amen.

**NRSV 1989, Phil 4** 1 Therefore, my brothers and sisters, whom I love and long for, my joy and crown, stand firm in the Lord in this way, my beloved. 2 I urge Euodia and I urge Syntyche to be of the same mind in the Lord. 3 Yes, and I ask you also, my loyal companion, help these women, for they have struggled beside me in the work of the gospel, together with Clement and the rest of my co-workers, whose names are in the book of life. 4 Rejoice in the Lord always; again I will say, Rejoice. 5 Let your gentleness be known to everyone. The Lord is near. 6 Do not worry about anything, but in everything by prayer and supplication with thanksgiving let your requests be made known to God. 7 And the peace of God, which surpasses all understanding, will

guard your hearts and your minds in Christ Jesus. 8 Finally, beloved, whatever is true, whatever is honorable, whatever is just, whatever is pure, whatever is pleasing, whatever is commendable, if there is any excellence and if there is anything worthy of praise, think about these things. 9 Keep on doing the things that you have learned and received and heard and seen in me, and the God of peace will be with you. 10 I rejoice in the Lord greatly that now at last you have revived your concern for me; indeed, you were concerned for me, but had no opportunity to show it. 11 Not that I am referring to being in need; for I have learned to be content with whatever I have. 12 I know what it is to have little, and I know what it is to have plenty. In any and all circumstances I have learned the secret of being well-fed and of going hungry, of having plenty and of being in need. 13 I can do all things through him who strengthens me. 14 In any case, it was kind of you to share my distress. 15 You Philippians indeed know that in the early days of the gospel, when I left Macedonia, no church shared with me in the matter of giving and receiving, except you alone. 16 For even when I was in Thessalonica, you sent me help for my needs more than once. 17 Not that I seek the gift, but I seek the profit that accumulates to your account. 18 I have been paid in full and have more than enough; I am fully satisfied, now that I have received from Epaphroditus the gifts you sent, a fragrant offering, a sacrifice acceptable and pleasing to God. 19 And my God will fully satisfy every need of yours according to his riches in glory in Christ Jesus. 20 To our God and Father be glory forever and ever. Amen. 21 Greet every saint in Christ Jesus. The friends who are with me greet you. 22 All the saints greet you, especially those of the emperor's household. 23 The grace of the Lord Jesus Christ be with your spirit.

**NKJV 1982, Phil 4** 1 Therefore, my beloved and longed-for brethren, my joy and crown, so stand fast in the Lord, beloved. 2 I implore Euodia and I implore Syntyche to be of the same mind in the Lord. 3 And I urge you also, true companion, help these women who labored with me in the gospel, with Clement also, and the rest of my fellow workers, whose names are in the Book of Life. 4 Rejoice in the Lord always. Again I will say, rejoice! 5 Let your gentleness be known to all men. The

Lord is at hand. 6 Be anxious for nothing, but in everything by prayer and supplication, with thanksgiving, let your requests be made known to God; 7 and the peace of God, which surpasses all understanding, will guard your hearts and minds through Christ Jesus. 8 Finally, brethren, whatever things are true, whatever things are noble, whatever things are just, whatever things are pure, whatever things are lovely, whatever things are of good report, if there is any virtue and if there is anything praiseworthy—meditate on these things. 9 The things which you learned and received and heard and saw in me, these do, and the God of peace will be with you. 10 But I rejoiced in the Lord greatly that now at last your care for me has flourished again; though you surely did care, but you lacked opportunity. 11 Not that I speak in regard to need, for I have learned in whatever state I am, to be content: 12 I know how to be abased, and I know how to abound. Everywhere and in all things I have learned both to be full and to be hungry, both to abound and to suffer need. 13 I can do all things through Christ who strengthens me. 14 Nevertheless you have done well that you shared in my distress. 15 Now you Philippians know also that in the beginning of the gospel, when I departed from Macedonia, no church shared with me concerning giving and receiving but you only. 16 For even in Thessalonica you sent aid once and again for my necessities. 17 Not that I seek the gift, but I seek the fruit that abounds to your account. 18 Indeed I have all and abound. I am full, having received from Epaphroditus the things sent from you, a sweet-smelling aroma, an acceptable sacrifice, well pleasing to God. 19 And my God shall supply all your need according to His riches in glory by Christ Jesus. 20 Now to our God and Father be glory forever and ever. Amen. 21 Greet every saint in Christ Jesus. The brethren who are with me greet you. 22 All the saints greet you, but especially those who are of Caesar's household. 23 The grace of our Lord Jesus Christ be with you all. Amen.

岩波翻訳委員会訳 1995, Phil 4 1 かくして、私の愛する、そして思慕している兄弟たちよ、私の喜びであり冠である人たちよ、このように主にあって堅く立ちなさい——愛する人たちよ。2 私はエウオディアに勧め、そしてシュンテュケに勧めるが、主にあって同じ思いを抱きなさい。3 然り、真実な、軛を同じくする仲間よ、私

はあなたにもお願いする。彼女たちを助けてくれるように。彼女たちは、福音において、私と共に、またクレメンスや他の私の同労者たちと共に闘ったのである。彼らの名前は生命の書に〔記されている〕。4 あなたがたは主にあって常に喜びなさい。もう一度私は言おう、あなたがたは喜びなさい。5 あなたがたの寛大さがすべての人たちに知られるようにしなさい。〔再臨の〕主は近い。6 あなたがたはなにごととも思い煩わず、むしろすべてのことにおいて、感謝を伴った祈りと願いとによって、あなたがたの求めるところが神に知られるようにしなさい。7 そうすれば、すべての理性を越えた神の平安が、あなたがたの心とあなたがたの想いとを、キリスト・イエスにあって護ってくれるであろう。8 最後に、兄弟たちよ、すべて真実なこと、すべて高貴なこと、すべて義しいこと、すべて清いこと、すべて愛すべきこと、すべて定評のあること、〔そして〕もしなんらかの徳やなんらかの称讃〔に値するもの〕があれば、それらのことがらを心に留めなさい。9 あなたがたが私から学んだこと、受容したこと、聞いたこと、見たこと、それらをあなたがたは行ないなさい。そうすれば、平和の神があなたがたと共におられるであろう。10 さて、私のための思いを抱いてくれるあなたがた〔の心〕が、ついに再び芽ばえてくれたことを、私は主にあって大いに喜んだ。なぜならば、あなたがたは〔私のことを〕思い抱いては来たのだが、しかし時機を逸してきたのだからである。11 私は窮乏のゆえに〔こう〕言うのではない。私は、自分がおかれた〔どのような〕状態においても、自ら足ることを学んだからである。12 私は卑賤に下ることをも知っているし、満ち溢れることをも知っている。私はありとあらゆることに精通して来ている。満腹することも、飢えることも、満ち溢れることも、窮乏することも。13 私は私を強くして下さる方によって、すべてのことをなすことができるのだ。14 それにしてもあなたがたは、実によく私と患難を共有してくれた。15 フィリピの人たちよ、あなたがた自身が〔次のことを〕知っている。すなわち、私が福音〔宣教〕のはじめに、マケドニア〔州〕から出て行って〔霊的なものを人々に与えた〕時には、ただあなたがたを除いては、との教会も、〔物を〕与え、与えられるという貸借勘定を私と共有してはくれなかったし、16 また私がテサロニケにいたときも、あなたがたは幾度となく、私の必要を満たすために、〔支援を〕送ってくれたということ。17 私は贈り物を求めているのではなく、豊かにあなたがたの貸勘定となる実を求めているのである。18 私はすべてのものを享受しており、〔豊かに〕満ち溢れている。あなたがたからの〔支援〕をエパフロデトスから受け取って満たされ切っている。それ



は芳しい香りであり、神に受け容れられ、喜ばれる供え物である。19 私の神は、あなたがたのすべての必要を、自らの富にしたがって、キリスト・イエスにおいて栄光のうちに、満たして下さるであろう。20 神すなわち私たちの父に、栄光が世々限りなく〔あるように〕、アーメン。21 キリスト・イエスにおけるすべての聖なる者に、あなたがたは挨拶するように。私と共にいる兄弟たちが、あなたがたに挨拶を送る。22 すべての聖なる者が、とくにカエサルの家の子たちが、あなたがたに挨拶を送る。23 主イエス・キリストの恵みが、あなたがたの霊と共に〔あるように〕。